



請願第2号

令和6年9月2日

大船渡市議会議員
伊藤力也様

請願者

健康保険証存続を求める大船渡の会

代表 古川光子



住所 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森37-19

電話番号 0192-27-5731

健康保険証を残すための意見書提出を求める請願

紹介議員

山本和義

菅原実

小松 則也

健康保険証存続を求める大船渡の会 構成団体

新日本婦人の会大船渡支部 支部長 古川光子

全日本年金者組合大船渡支部 支部長 新沼紀三

母親大会大船渡地区実行委員会 実行委員長 佐々木フミ子

大船渡市身体障がい者協会 会長 千葉源治

大船渡市老人クラブ連合会 会長 野村節三



令和6年 9 月 2 日

大船渡市議会議長 伊 藤 力 也 様

健康保険証を残すための意見書提出を求める請願

請願者 健康保険証存続を求める大船渡の会

代 表 古 川 光 子



住所 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森 37-19

電話番号 0192-27-5731

【 請 願 趣 旨 】

政府は現行の健康保険証を 2024 年 12 月 2 日以降は発行しないことを決定しています。

しかし、誤登録や情報漏えい、あるいは資格無効と表示されるなど、マイナンバーカードでの受診によるトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。また、健康保険証が廃止されれば、マイナンバーカードを持たない人は、保険料を払っていても公的保険診療から遠ざけられる結果となりかねず、国民皆保険制度の下で守られている国民の命と健康が脅かされます。

岩手県保険医協会が実施した、健康保険証廃止に伴う高齢者施設等への影響調査(回答数 70 施設)によると、9 割以上の施設で「利用者のマイナンバーカードの管理ができない」と回答しています。さらに 6 割の医療機関で「トラブルがあった」と回答しています。

したがって、すべての国民が安心して医療を受けられるようにするために、マイナンバーカードへの一本化は急がずに、現行の健康保険証を残すことを求めることにいたしました。

以上の趣旨から、下記事項につき、地方自治法第 99 条に基づく国に対する意見書の提出をしていただきたく、請願いたします。

【 請 願 項 目 】

- 1 現行の健康保険証を当分の間残すこと。

「今まで通り

健康保険証を残して下さい」

署名

一千四百二十六筆

令和六年九月二日

健康保険証存続を求める大船渡の会